

# 家庭でチャレンジ！「ノーメディア」



2月15日（木）～2月19日（月）の3日間で3学期の期末考査が実施されます。  
それに合わせて14日（水）より18日（日）までノーメディアチャレンジを実施します。  
今回は大音量によるリスクについてのコラムを紹介します。

## スマホで聴く音楽に難聴リスク「音量下げて」WHO が警告

国連は12日、10億人以上の若者がスマートフォンやその他オーディオ機器の大音量での使用による聴覚障害のリスクにさらされていると警鐘を鳴らした。国連は安全な音量レベルに関する新たな安全基準を提案している。

国連専門機関の世界保健機関と国際電気通信連合は聴覚を守ることを目指し、オーディオ機器の製造と使用に関する拘束力のない国際基準を発表した。

音楽鑑賞においては、特に若者がリスクを伴う習慣に陥りやすい。WHOによると、12～35歳の約半数に当たる11億人に「大きな音に長時間にわたって過剰にさらされる」恐れがあり、個人用オーディオ機器もこうしたリスク要因の一つと指摘された。

しかし、WHOのテドロス・アダノム事務局長は、世界にはすでに「難聴を防ぐための技術的なノウハウ」があると話す。

同事務局長は声明を発表し、「これほど多くの若者が音楽を聴く間に自身の聴覚に損傷を与え続けるようなことがあってはならない」と述べ、若者は「ひとたび聴力を失えば回復は困難であることを理解しなければならない」と続けている。現在、世界人口の約5%に当たる約4億6600万人が、日常生活に支障をきたすほどの難聴に悩まされている。この中には3400万人の子どもが含まれるが、WHOによると、そのうちどれだけの人がオーディオ機器の危険な使用によって聴力を損傷したのかは分からないという。しかし、ITUと共同で策定した今回の新基準によって、「日々、音楽を楽しむ若年消費者層を守ることができるだろう」と期待を寄せる。

WHOは、85デシベル（dB）超で8時間、100dB超で15分の音量にさらされるのは安全でないとしみ込んでいる。

出典：AFP

ご家庭ではヘッドフォンやイヤホンを使用し、大音量で音楽やゲーム等をしていませんか。活用方法を間違えると、とても大きなリスクが生じます。ぜひ、使用法についてはご家庭で話す機会を設けてほしいと思います。

## ノーメディア宣言！！

私は、期末考査前の2月14日～2月18日のノーメディアチャレンジ週間は、

{ }

することを約束します！！



私たち（ ）家は、家族みんなで期末考査前の2月14日～2月18日のノーメディアチャレンジ週間は、

{ }

することを約束します！！

